



大場康議
自民党市議員

水道漏水事故の状況について

問 令和4年12月27日発生の水道管破損事故の被害状況と原因は。

答 三谷町、豊岡町、平田町の一部で断水及び濁水が発生、約2600件に影響した。事故原因は管の老朽化と長年にわたる車両荷重の蓄積が想定される。

蒲郡市水道ビジョンについて

問 各施設の経年化状況について伺う。

答 平成30年度では、建物及び構造物は99%が健全資産で問題ない状況である。機械設備は63%、電気施設は54%が健全資産となっており、約40%が法定耐用年数を超過しているが、適切な管理をし、長寿命化を図っている。管路は65%が健全資産



で、約35%が法定耐用年数を超過している。

問 施設の更新計画は。

答 配水池は、現在第1南山配水場の更新事業を、その後第1金平配水場を更新する。管路は令和5年度から西部送水管及び中央配水管に加え、南山配水管の更新も前倒しする。機械設備・電気設備は遠方監視設備の更新工事を実施している。

問 自然災害に対して被害の減災を考え、更新の目標値を再設定し、管路更新期間を短縮すべきでは。

答 現時点では、この目標値を着実に達成するよう進めていくことが重要であると考えている。



藤田裕喜
自民党市議員

市内小中学校の制服について

問 小中学校の制服を廃止してもらいたいという意見がある。教育委員会はどのように考えているか。

答 制服を廃止してほしいという意見がある一方で、制服があった方がよいという意見も多くある。今後、制服の扱いについては、保護者や児童生徒、教職員の見解を踏まえ、慎重に対応していく必要があると考えている。

問 卒業生の制服等を在校生に譲る「制服リサイクル」を継続的に実施できるよう、教育委員会もしくは学校として運営する仕組み作りを検討できないか。

答 昨今のSNSの普及により、保護者同士のネットワークが広がり、上手に制服や体操



服が活用されている状況があると考えている。学校はもちろん、教育委員会が制服や体操服のリサイクル業務を行わなくても効果的な制服リサイクルが始められていると考えている。

問 制服をめぐる子ども達や保護者の考え、業者の立場もあり、なかなか難しい問題だと感じている。今後の方向性を伺う。

答 令和5年度に制服等の見直し検討委員会を立ち上げ、今後の方向性を決めていきたいと考えている。まずは各学校で保護者や子ども達の意見を聞き、関係機関も含め、丁寧に説明や対応を実施していく。



鈴木貴晶
自由クラブ

行政サービスのデジタル化の推進

問 LINE公式アカウントの導入について、本市の友だち数（登録者数）、東三河各市の導入状況、また、西三河の状況について伺う。

答 本市の2月24日現在の友だち数は2万9486人となっており、東三河では、田原市が2674人、新城市が7229人で、豊橋市と豊川市はアカウントを持っていない。西三河では、岡崎市が2万7613人、西尾市が10万1140人で、本市の友だち数は西三河を含めても比較的多い状況となっている。

池の水ぜんぶ抜く大作戦について

問 掻い掘りは、水辺の自然を守る優れた手法であるとともに、賑



わいの創出や、生き物を通じた教育にも寄与される。池の水ぜんぶ抜く大作戦の実施について、市の考えを伺う。

答 近隣では、テレビ番組の企画にて、岡崎城や西尾城のお堀で池の水ぜんぶ抜く大作戦を実施している。テレビ番組の企画となれば、シティセールスとしても活用できる。実現した場合は、多様なボランティアの手が必要になると思うが、多くの地元の子供たちを集めることで、地元への愛着をさらに深めることが期待できる。今後は、先進地の取組事例を参考に、事業の実施について検討していきたい。